

各関係機関の長 様

福井県農業試験場長
(公印省略)

このことについて、下記のとおり発表しましたので送付します。



連絡先	福井県農業試験場病害虫防除室	
TEL	0776-54-9315	
FAX	0776-54-5106	
E-mail	byogaichu-boujo@fklab. fukui.fukui.jp	
福井県病害虫防除室 <input type="button" value="検索"/>		

令和6年農作物病害虫発生予察予報第8号

10月の気象概況

天気は数日の周期で変わるでしょう。気温は高く、降水量は平年並みでしょう。

[野菜関係]

野菜名	病害虫名	予報内容			防除対策および 防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発生量	
キャベツ ハクサイ	べと病	初発期 10月下旬 最盛期: 11月中旬	少発	平年:やや少 前年:やや少	1)被害葉を除去する。 2)薬剤散布の際は、葉の裏側にもよくかかるようにする。 3)肥料切れをさせない。
ハクサイ	白斑病	初発期 10月下旬 最盛期: 11月中旬	少発	平年:少 前年:少	1)被害葉を除去する。 2) 薬剤散布の際は、葉の裏側にもよくかかるようにする。 3)肥料切れさせない。
ダイコン ハクサイ キャベツ	軟腐病		少発 (局中発)	平年:やや多 前年:やや多	1) 食痕性害虫を防除する。 2)強風後もしくは降雨や高温が続く場合は発病の恐れがあるので、薬剤防除を行う。
キャベツ	黒腐病		少発	平年:やや多 前年:やや多	1) 食痕性害虫を防除する。 2)降雨や高温が続く場合は発病の恐れがあるため、薬剤防除を行う。
ダイコン	モザイク病		少発	平年:少 前年:少	1) アブラムシ類を防除する。

野菜名	病害虫名	予 報 内 容			防除対策および 防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発生量	
ニンジン	黒葉枯病	初発期 10月下旬 最盛期: 11月中旬	少発	平年:並 前年:やや少	1)肥料切れさせない。 2)予防散布に努める。
ネギ	さび病		少発	平年:少 前年:少	1)適正施肥につとめ、草勢を良好にする。 2)同一系統薬剤の連用は避ける。 3)薬剤防除の際には、展着剤を加用し、葉全体に薬液が付着するようにする。
ネギ	黒斑病		少発 (局中発)	平年:やや多 前年:やや多	1)適正施肥につとめ、草勢を良好にする。 2)被害株を適切に処分し、初発の防除を重点的に行う。 3)薬剤防除の際には、展着剤を加用し、葉全体に薬液が付着するようにする。
全般	ヨトウムシ類 (ハスモンヨトウ除く)		少発 (局中発)	平年:並 前年:並	1)対象作物により薬剤が異なる。 2)薬剤抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。
	ハスモンヨトウ	加害盛期: 10月中旬	少発 (局中発)	平年:やや多 前年:並	
アブラナ科 野菜	コナガ	加害盛期: 10月中旬	少発 (局中発)	平年:やや少 前年:少	1)薬剤抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。
	モンシロチョウ (アオムシ)		少発	平年:並 前年:並	
	タマナギンウ ワバ	加害盛期: 10月中旬	少発	平年:並 前年:並	
	キスジノミハ ムシ	加害盛期: 10月上旬	少発 (局中発)	平年:並 前年:やや多	
ハウレンソウ (施設)	シロオビノメイガ	加害盛期: 10月下旬	少発	平年:並 前年:並	
ナス キュウリ ハウレンソウ (施設)	アザミウマ類		少発 (局中発)	平年:多 前年:多	1)寄主範囲が広いので注意する。

野菜名	病害虫名	予 報 内 容			防除対策および 防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発生量	
トマト キュウリ (施設)	タバココナジ ラミ		少発 (局中発)	平年:多 前年:多	1)タバココナジラミは黄化葉巻病を媒介するので特に注意する。 2)葉裏に、また、下葉に十分にかかるように農薬を丁寧に散布する。
	オンシツコナ ジラミ		少発 (局中発)	平年:多 前年:やや多	
トマト ナス (施設)	オオタバコガ		少発 (局中発)	平年:やや少 前年:少	1)果実に食入するため若齢幼虫期に防除を徹底する。
トマト (施設)	ミカンキイロ アザミウマ		少発 (局中発)	平年:並 前年:並	
	トマトサビダ ニ		少発	平年:並 前年:並	

[花き関係]

花き名	病害虫名	予 報 内 容			防除対策および 防除上の注意点
		発生時期	被害程度	発生量	
キ ク	白さび病		少発	平年:やや少 前年:やや少	1)罹病株が周辺への伝染源となるので、抜き取り処分する。 2)下葉を除去し、日当たり、風通しを良くする 3)同一系統薬剤の連用を避ける。
キ ク	オオタバコガ		少発	平年:やや少 前年:少	1)若齢幼虫期までに防除を徹底する。 2)薬剤抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。
	ミカンキイロ アザミウマ		少発	平年:並 前年:並	1) 薬剤抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。
	ハダニ類		少発	平年:並 前年:並	1) 薬剤抵抗性が発達しないように、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。